

発信します。熊本グリーンウォッチング



「森の都」熊本には、豊かな緑があります。緑は私達の心に深いやすらぎを与えてくれます。緑は、新鮮な情報を生み出し、育みます。緑は、新しい交流を生み、素晴らしい文化を生み出します。いま、私たちは「緑」に注目しています。緑の基地をめざします。まず謙虚な心で緑に近づき、そして緑を体験し、新しい緑を発見したいと思います。発信します。緑のコミュニケーション——グリーンウォッチング——熊本から。



撮影 宮川一郎さん

大地に根をはり、空を食む。は
ただ、ひたすら、たくましく。

熊本城の「くすのき」

「くすのき」は、昭和四十一年、広く県民に親しまれ、歴史的、文化的にも深みがあると認められ、県木として選定された。熊本城の緑の多くは「くすのき」の緑だ。また、県下には、国指定天然記念物の藤崎台クスノキ群（熊本市）ほか、県指定天然記念物の「くすのき」計六件がある。「くすのき」はまさに、熊本県の象徴として郷土の風景の中に溶け込んでいるのである。加藤清正は、熊本城築城の際、籠城に備えて、城内に百二十余の井戸をつくり、畳の芯をすべて非常食になる「すいき」でこしらえ、燃料用として城内に樹木を生い茂らせたという。五月の節句の頃、「くすのき」の新緑は、萌えるように美しい。熊本を代表する木として、大切に後世に残していきたいものである。

熊本県広報誌「くまもとの風」六十九号 昭和五十九年五月二十五日発行・発行人・熊本県広報外事課 熊本市水前寺6丁目18番1号 〒862-833 1111

白木印刷

ご回覧、ご陳列下さい。